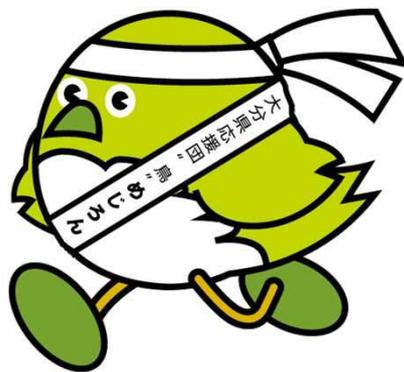


企業・財団の助成プログラム（3）

J T S D G s 貢献プロジェクト （日本たばこ産業株式会社）



JTグループのサステナビリティ

社会と事業の持続的発展に向けて
～JT SDGs 貢献プロジェクト～

日本たばこ産業株式会社
大分支店

ひとの
ときを、
想う。 JT

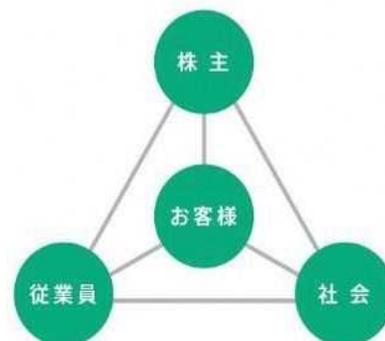
Copyright© 2019 Japan Tobacco Inc. All rights reserved.

JTグループのサステナビリティ

ひとの
ときを、
想う。 JT

経営理念である4Sモデルに基づく事業活動を通じ、社会の持続的な発展に貢献していきます。

- JTグループの経営理念は「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者の満足度を高めていく」とした4Sモデルです。
- JTグループが持続的に成長していくためには、経営理念である4Sモデルに基づく事業活動を通じ、社会の持続的な発展に貢献していくことが必要不可欠であると考えています。
- ステークホルダーの皆様と継続的に対話し、社会の一員として責任を果たすべく、日々さまざまなサステナビリティの課題に取り組んでいます。



Copyright© 2019 Japan Tobacco Inc. All rights reserved.

持続可能な事業とするための「3つの基盤（グループ共通）」と「4つの注力分野（たばこ事業）」を策定しました。

サステナビリティ戦略

3つの基盤（JTグループ共通）			
人権の尊重	環境負荷の軽減と社会的責任の発揮	良質なガバナンスと事業規範の実行	
たばこ事業の注力分野（事業が優先的に取り組む分野）			
お客様の期待を上回る 製品・サービスの提供	人財への投資	持続可能な サプライチェーンの構築	事業を取り巻く規制への適切な 対応と不法取引の防止

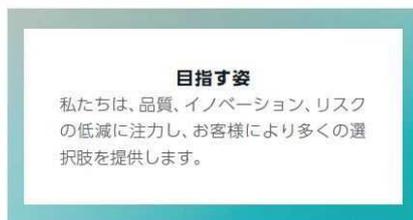
取り組みを通じてSDGsに貢献



- JTグループは、国連で採択されたSDGsおよび当社事業や事業環境に関わるSDGsの目標を支持しています。
- 私たちは、持続可能な事業運営に対する責任を極めて真剣に受け止めています。
- たばこ、医薬、加工食品という3つの事業それぞれの取り組みを通じて、SDGsに貢献してまいります。

お客様の期待を上回る製品・サービスの提供

私たちは、成人のお客様に選択肢となり得る多様な製品を提供し、お客様が十分に情報を得た上で選択できるよう、それぞれの製品の利点やリスク低減の可能性をお知らせすることに注力しています。



中期取り組み目標

私たちは、率先してリスク低減製品カテゴリーにおいてお客様に幅広い選択肢を提供します。

燃焼を伴う従来のたばこ製品に代わる新しい選択肢として、電子たばこ加熱式たばこが、世界中で普及しつつあります。

こうした新しい製品は、燃焼を伴わず煙を出さないため、におい等による周囲への迷惑を軽減できるとともに、喫煙に伴う健康へのリスクを低減できる可能性があるものと期待されています。

私たちは、より多くのお客様に満足いただくことができ、且つ健康リスクを低減させる可能性のある製品（リスク低減製品）を開発し、お客様に提供していくとともに、リスク低減製品の科学的評価についての調査研究も進めています。

私たちは、たばこを吸われる方、吸われない方、双方のニーズに応えていくという私たちの取り組みの一環として、JTグループの加熱式たばこの情報を継続的に提供しています。

日本では、煙のにおいで他人に迷惑をかけない、そしてさまざまな場面で使いやすい製品が、紙巻たばこに代わるものとして求められています。

JTグループは、日本においては、リスク低減製品として、高温加熱型と低温加熱型の2つのカテゴリーの加熱式たばこを販売しており、またそれらの製品についての理解を深めていただくための情報提供や対話活動を、積極的に行っています。

リスク低減製品は、たばこに対するお客様のニーズや社会からの要請にお応えし得るものであり、また私たちの事業の持続的成長にとっても重要な分野であるものと考え、JTグループとして重点的に取り組んでいます。





リサイクルへの取り組み

ひとの
ときを、
想う。 JT

私たちは、リサイクルに対するお客様の関心の高まりや廃棄方法に関するお困りの声に向き合うため、これまでのJT独自のリサイクルへの取り組みを、今後たばこ業界としての取り組みへと広げていきます。

実施団体	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人 日本たばこ協会、日本たばこ産業株式会社およびプリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社
開始時期	<ul style="list-style-type: none"> 2020年2月～
回収対象機器等	<ul style="list-style-type: none"> 「Ploom」及び「glo」各種の使用済み機器本体と一部の消耗品
回収方法	<ul style="list-style-type: none"> お客様から、対象の使用済み機器等を回収店舗にお持ち込みいただけます。 お持ち込みいただいたものは、日本たばこ協会が回収し適切にリサイクルします。
回収店舗	<ul style="list-style-type: none"> 東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県の一部たばこ販売店（順次エリア拡大予定） 回収店舗の詳細については2020年2月以降、JTのPloomブランドサイトや日本たばこ協会ホームページ等でご確認いただけます。



(参考) これまでのJTのリサイクルへの取り組み

- 2016年のPloom TECH 発売当初より、段階的・定期的に使用済み製品を対象としたリサイクルを実施してきました。
- 2018年には、「Ploom Re:Style」と称し、9月から12月までの4か月間、全国のPloomオーナーズクラブ会員を対象に、使用済みの専用たばこカプセルおよび専用カートリッジの郵送回収を実施し、延べ32,000件を超えるお客様にご参加いただきました。お客様からお預かりした使用済み製品は、焼却による熱回収等を行いました。
- 2019年5月からは、Ploom3製品を対象としたリサイクルの実証実験を東京都内で行っています。

人財への投資 ～地域社会への貢献～

地域社会への貢献



JTグループは、責任ある地域コミュニティの一員として、自然・社会・人間の多様性に価値を認め、幅広いステークホルダーとともに様々な社会貢献活動に取り組んでいきます。

JTグループは、持続的な地域社会の発展および「包摂的な社会」「inclusive societies」の実現に寄与することを目的にマルチステークホルダー・パートナーシップを基盤として、下記三つの領域を、社会貢献活動の重点課題として位置づけます。



格差是正



災害分野



環境保全



マルチステークホルダー・
パートナーシップ推進

Copyright© 2019 Japan Tobacco Inc. All rights reserved.



「格差是正」への取り組み



JTグループでは、地域社会の人々のニーズに応える様々なプログラムを通じ、包摂的
社会の実現に寄与することを目指しています。

JT NPO助成事業

「地域コミュニティの再生と活性化」を募集テーマに、多様かつ複雑な地域社会の重要課題に取り組む、非営利法人の事業を支援を1999年度より実施してきました。
* 2020年度より新規募集を終了し、後継事業として新たにJTSDGs貢献プロジェクトを設立しました。



(参考)1999年からの累計助成金額

約 14.3 億円

(参考)1999年からの延べ助成団体数

延べ 1,158 団体

JTグローバル奨学金制度

国際交流の促進と人材育成を通じた持続的な社会の発展に寄与することを目的として、JTグループが事業所を展開している国と地域から日本に留学する私費留学生を対象とした奨学金制度を1998年度より実施しています。



現役奨学生数

19人

奨学生データ

生活の質が向上した: 95%
学習意欲が向上した: 100%
学業上のスキルが向上した: 89%
異文化間コミュニケーションに
対する理解が促進された: 95%
※JT実務のアンケートに基づく

(参考)1998年からの累計奨学生数

237人

*実績数値はすべて2018年実績

Copyright© 2019 Japan Tobacco Inc. All rights reserved.

「災害分野」への取り組み

JTグループでは、被災地における支援活動のほか、平時における災害リスク軽減への支援活動に取り組むことで、安全で持続可能な地域社会づくりを目指しています。

被災地における支援活動

国内外の災害発生時に、JTグループ各社で連携し、被災地への緊急支援を実施しています。



防災・減災活動支援

特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパンと、災害に備えた人命捜索救助隊の育成や、災害発生時の被災地支援活動に関する協定を締結しています。



東日本大震災復興支援

JTNPO応援プロジェクトを通じ、被災地で活動するNPO団体の活動を支援しています。「コミュニティの再生・復興支援(第1期/3年)」、「コミュニティの自立支援(第2期/2年)」を経て、2019年より震災の経験を後世に伝え、防災減災につなぐ「震災伝承」に関する支援を実施しています。



(参考)2013年からの累計助成金額

約4.4億円

(参考)2013年からの延べ助成団体数

延べ118団体

JTが開発・保有していた品種を、岩手県陸前高田市に寄贈し、オリジナルブランド米「たかたのゆめ」が誕生しました。



「たかたのゆめ」収量

207t

「たかたのゆめ」生産農家数

44農家

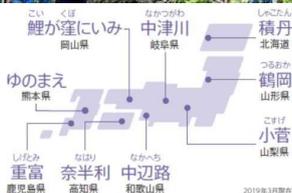
*実績数値はすべて2018年実績

「環境保全」への取り組み (1/2)

JTグループでは、全国各地で、森林保全活動や環境美化活動などの環境保全活動を、地域の皆様とともに取り組んでいます。

JTの森

各都道府県の企業の森づくりを支援する森林保全協定の枠組みを利用。地域が目指す森づくりに必要な手入れを支援する「JTの森」を2005年より全国各地で実施しています。また、毎年春と秋には従業員ボランティアが、地元の方々と森林整備を行う「森づくりの日」を実施しています。



総協定森林面積

1,026ha

「森づくりの日」に係った
従業員ボランティア人数・時間

741人
延べ741時間

九州支社ピックアップ例：JTの森 ゆのまえ (熊本県)

毎年春・秋に地元の方々と一緒に森林保全活動を実施しています。森林保全の大切さを改めて感じるいい機会となった等の声をいただいております。

(主な参加者)

地元の参加者：ゆのまえ町の方々・緑の少年団等大人から子供まで
2019年春の参加者：全286名、うちJT関係191名
2019年秋の参加者：全241名、うちJT関係146名

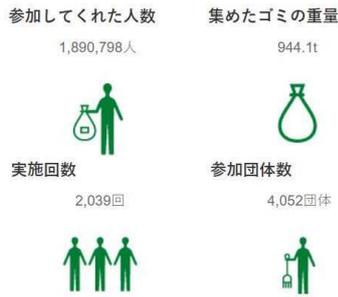


「環境保全」への取り組み (2/2)

JTグループでは、全国各地で、森林保全活動や環境美化活動などの環境保全活動を、地域の皆様とともに取り組んでいます。

ひろえば街が好きになる運動

「ひろう」という体験を通じて「すてない」気持ちを育てたいという願いのもと、2004年から全国各地で、自治体、学校、ボランティア、各催事の実行委員会や協働団体など、さまざまな方々と市民参加型の清掃活動を実施しています。



九州支社全体の概要

九州支社管内の6県（福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・沖縄県）にて2019年度は6会場で8回実施いたしました。「ひろえば街が好きになる運動」を通じ、「マナーの大切さ」だけでなく、「地域環境問題」への取り組みについて考える機会となり、気軽に参加できる事から次回も参加したい等の声を多くいただいております。

2019年度ひろえば街が好きになる運動出展実績（九州支社）

ひろ街出展 催事名称	開催都道府県・市区町村	催事来場者数	ひろ街実施期間	ひろ街参加
博多どんたく港まつり	福岡県福岡市	200万人	2019/5/3~5/4	2,000人
佐賀バルーンフェスタ	佐賀県佐賀市	80万人	2019/11/3~11/4	2,000人
第13回ながさきみなとまつり	長崎県長崎市	40万人	2019/7/27~7/28	1,000人
くまもと春のお城まつり	熊本県熊本市	40万人	2019/3/24~3/25	1,500人
くまもと秋のお城まつり	熊本県熊本市	45万人	2019/10/20~10/21	1,500人
日田川開き観光祭	大分県日田市	20万人	2019/5/25~5/26	1,000人
おおいと食と暮らしの祭典	大分県大分市	20万人	2019/10/5~10/6	1,000人
第49回那覇大綱挽まつり	沖縄県那覇市	40万人	2019/10/12~13	700人

重点3領域を横断した取り組み

地域社会の様々な団体とのパートナーシップを基盤に、JTグループの社会貢献活動の重点3領域および関連するSDGsへの貢献を通じて、包摂的かつ持続可能な地域社会の発展に向けて取り組んでいきます。

JT SDGs貢献プロジェクト

対象事業	日本国内において実施する「格差是正」、「災害分野」、「環境保全」につながる事業
対象団体	法人（営利／非営利等の法人格は問わない）
募集期間	通年（2020年1月15日から募集を開始）
助成期間	開始月から1年間（最長3年間の継続助成が可能）
助成金額	1法人1事業を対象 上限200万円（申請事業に関わる事業費及び人件費）

JT SDGs 貢献プロジェクト

詳細内容

【助成の対象となる事業】

- 「格差是正」：人と人もしくは地域間で生じる水準の差異の是正につながる事業
- 「災害分野」：災害発生地域における支援及び将来の災害に備えた減災・防災につながる事業
- 「環境保全」：様々な天然資源の維持につながる事業

【応募先・問い合わせ先】

JT SDGs貢献プロジェクト外部事務局
公益社団法人 日本フィランソピー協会内

philanthropy.or.jp/jt/ ⇒応募書類はこちらから取得できます。

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル244
メールアドレス：jt_sdgs@philanthropy.or.jp お問い合わせはメールにてお願い致します。